

# 基本方針

世界の架け橋「WABISABI」委員会 委員長 森井 真司

大阪万博の誘致や東京オリンピックに向け日本中で国際化を推進しており、わがまちにも国際化が求められ、堺市・高石市の行政や企業、民間団体などは海外に目を向けて活動に取り組んでいる中、市民は国際化に対する意識が薄いのが現状です。そこで、市民に国際化に対する必要性を理解していただき、このまちの活性化につながる国際意識を醸成する必要があります。

まずは、インバウンドにつながる国際化の必要性を理解していただくために、市民に国際化が地域に与える様々な影響について確かな情報を伝え、認識していただくことで、国際意識の向上を図ります。市民の国際意識が向上することにより、この地域に訪れる外国人観光客の方々に対して前向きに接するようになり、言葉の壁を越えた心と心のふれあいをもたらし、海外からも溶け込みやすい環境となります。そして、観光客の誘致のために、当委員会が率先して伝統文化である地域の魅力を探し、掘り起こして新たなわがまちのブランドとして、その魅力を年間通じて外国人に発信をおこない、外国人観光客や市外からの観光客に、このまちに訪れていただける機会が増加することにより、まちを活性化させます。

さらに、世界中の方々と国際交流をおこなえる J C I の事業である、ASPAC ウランバートル大会では、ひとりでも多くの堺高石 J C メンバーに参加を促すことで、メンバー内の国際意識の向上をめざします。そして、ブース出展では、堺市・高石市の伝統文化を感じられるものを提供し、わがまちの魅力を世界へ向けて発信します。

さらなる堺市・高石市の国際化が進み、外国人が親しみやすいまちとなり、双方のフレンドシップにつながる多彩で多様な外国人が訪れ賑わい活気があふれ、このまちとの関わりが今まで以上に強まります。育った環境が違っても住まう人々の心に共感の輪が広がり、まちはさらに変化する国内外から注目され、ヒトとモノが集う魅力あふれる自由と自治の国際都市を創造します。